

データに基づく持続可能な観光地経営に向けて 【広島県 廿日市市 宮島】



地域創生Coデザイン研究所

UNWTO「持続可能な観光の実現に向けた先進事例集」

「持続可能な観光の実現に向けた先進事例集」に掲載されている広島県廿日市市宮島での事例をご紹介します。

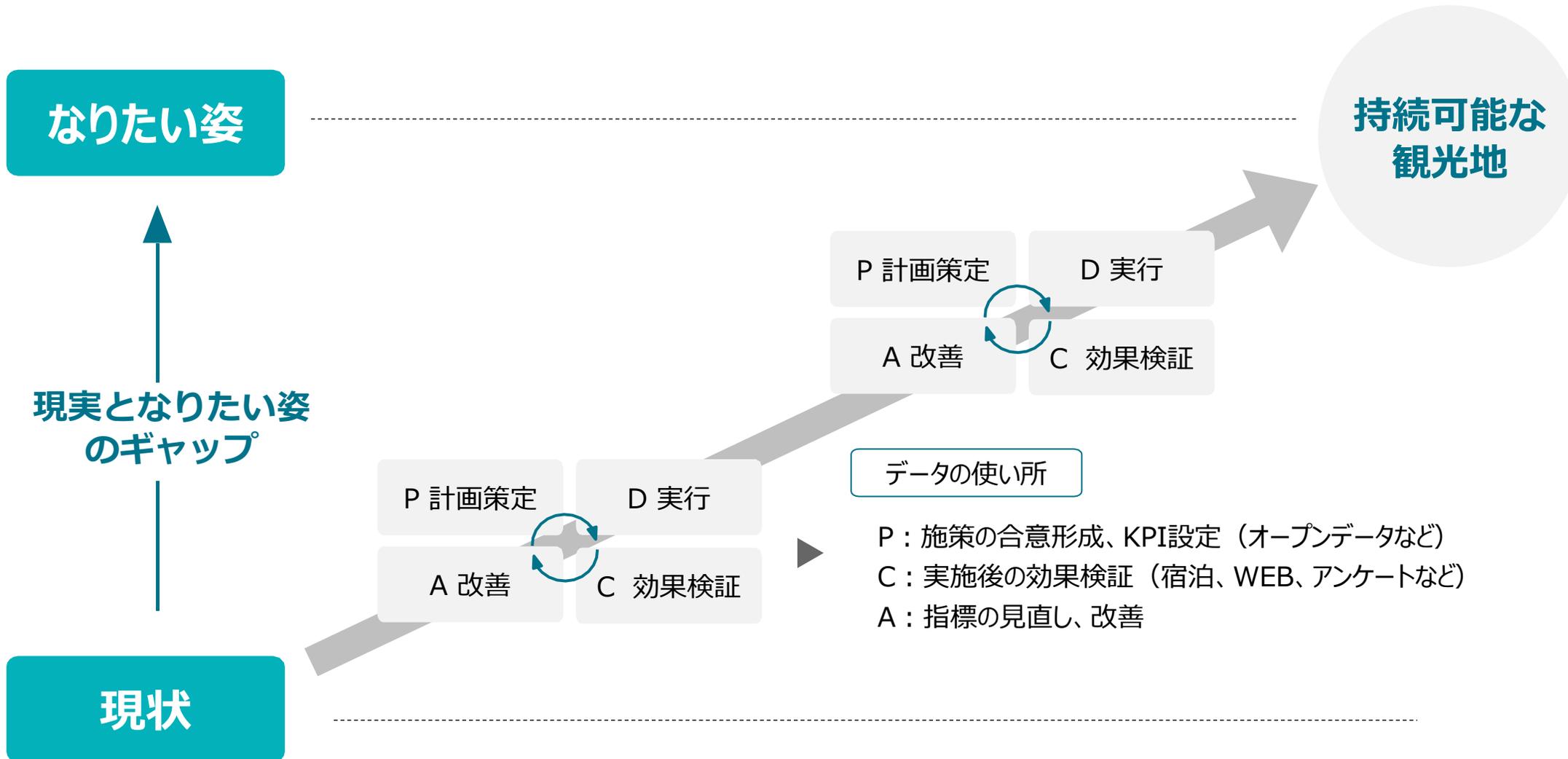
■ 持続可能な観光の実現に向けた先進事例集

■ データに基づく持続可能な観光地経営に向けて (P.76~P.77)



データに基づく持続可能な観光地経営 全体像

現状把握となりたい姿を設定しギャップを埋めるための施策（PDCA）を繰り返してきた。



広島・宮島でのこれまでの活動経緯

地域事業者となりたい姿の合意後、各種施策によってPDCAのサイクルを回してきた。



2022年春

エビデンスに基づいた
協議により
なりたい姿の合意形成



2022年夏

関係人口増加を目的とした
トークイベントの実施



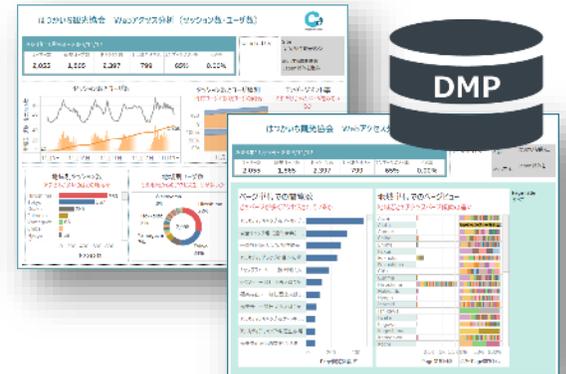
2022年冬

観光庁事業を活用し
レベニューマネジメントと
DX勉強会の実施



現在

廿日市市版
観光DMPの構築



▼世界遺産の厳島神社



中江町

3つの**宿泊施設**

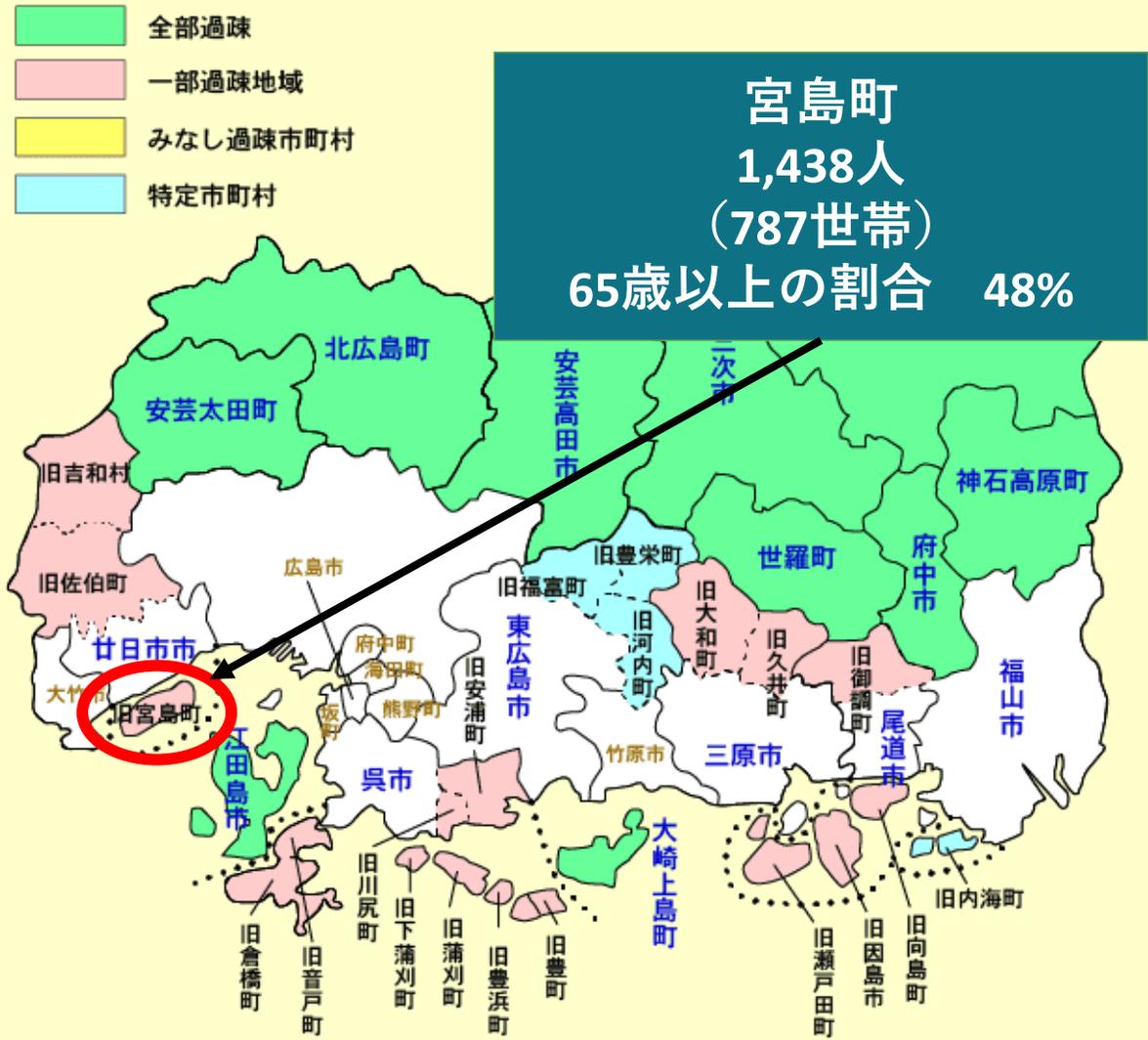
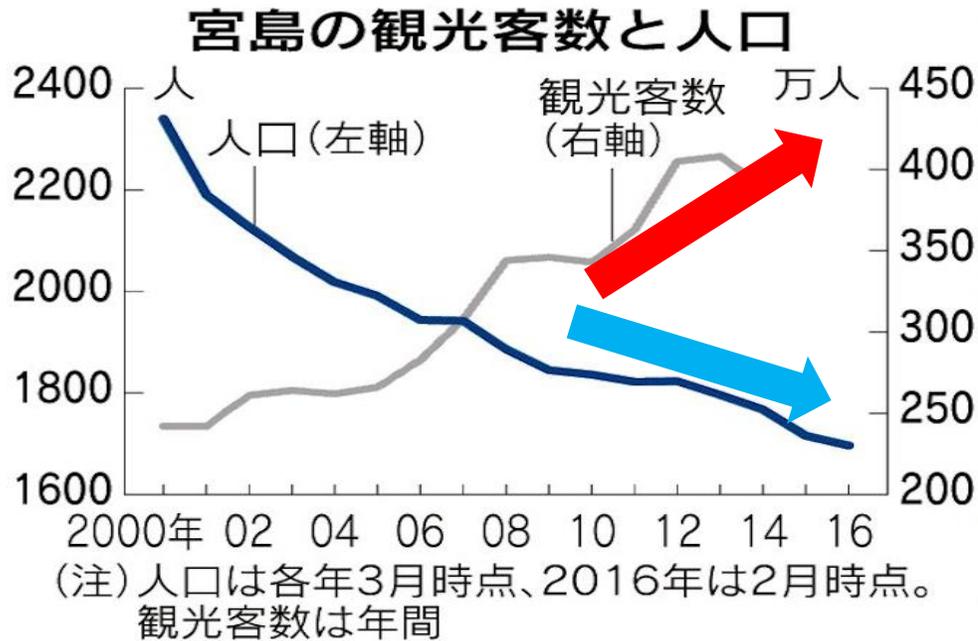
8つの**飲食店**

住民の生活が共存するエリア

世界有数の観光地と過疎地 宮島の抱える二面性

観光客は増加

一方で、人口は減少し過疎地に
少子高齢化・働き手不足・空き家
などの問題を抱えている



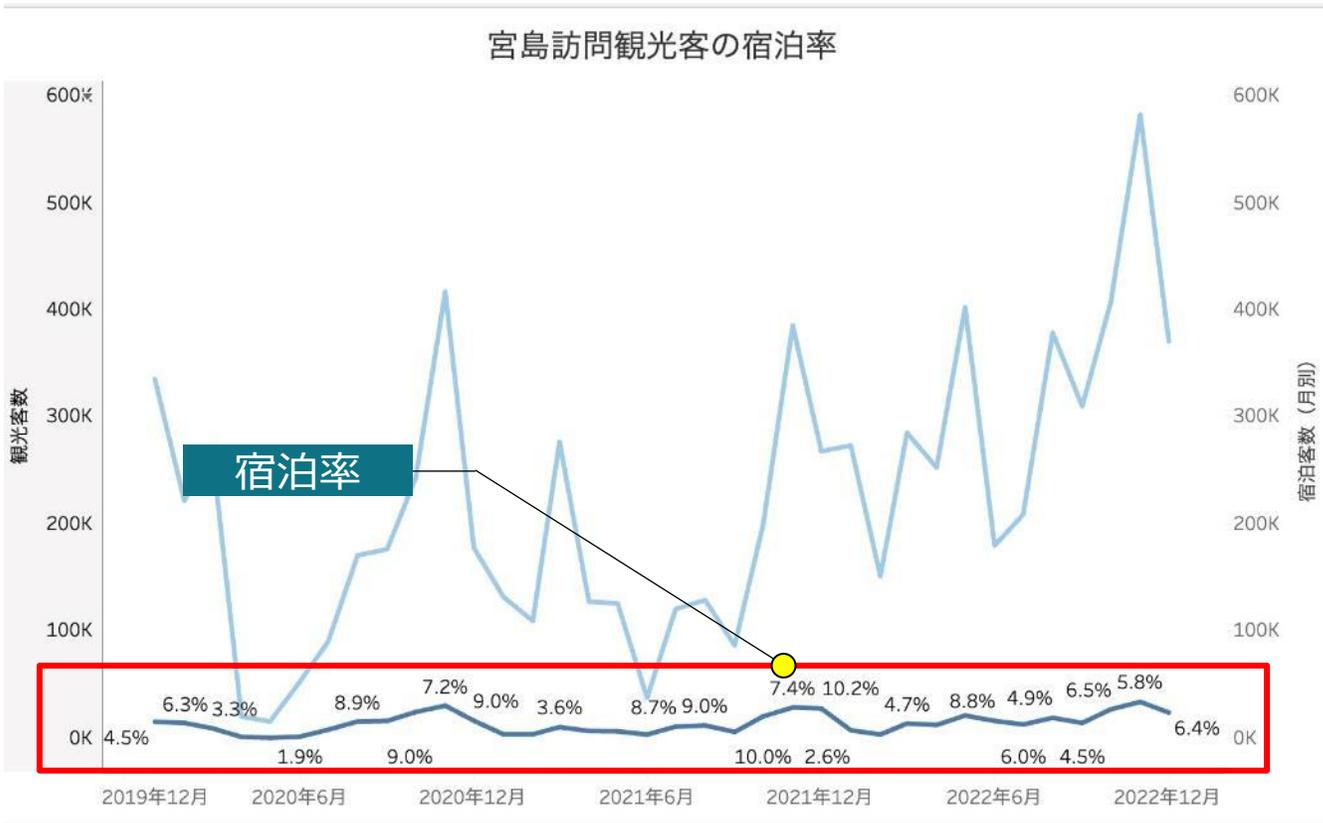
【出典】日本経済新聞 2016/3/12 より
<https://www.nikkei.com/article/DGXLO98347640R10C16A3LC0000/>

【出典】一般社団法人全国過疎地域連盟HPより
<https://www.kaso-net.or.jp/publics/index/61/>

【出典】廿日市市住民基本台帳より
<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/126/10971.htm>

観光客数は増加しているが、宿泊率とリピート率が低く、観光消費額も少ない「通過型観光地」になっている。

観光客数と宿泊者数（宿泊率）



広島県の現状分析

強み

インバウンドに強く、2大観光地が牽引

- ①インバウンド認知度**50%** … 全国**6位**
- ②欧米豪からの観光客割合**46%** … 全国**1位**
- ③外国人の人気観光地ランキング
 - … 平和記念公園 **全国2位**
 - … 宮島・厳島神社 **全国3位**

弱み

リピートに弱く、現地消費が少ない

- ①リピーター比率が少ない(**52%**) ※全国平均68%
- ②現地消費の単価安い(**22,800円**) ※全国平均23,500円
- ③宿泊者数が少ない(**10%未満**)

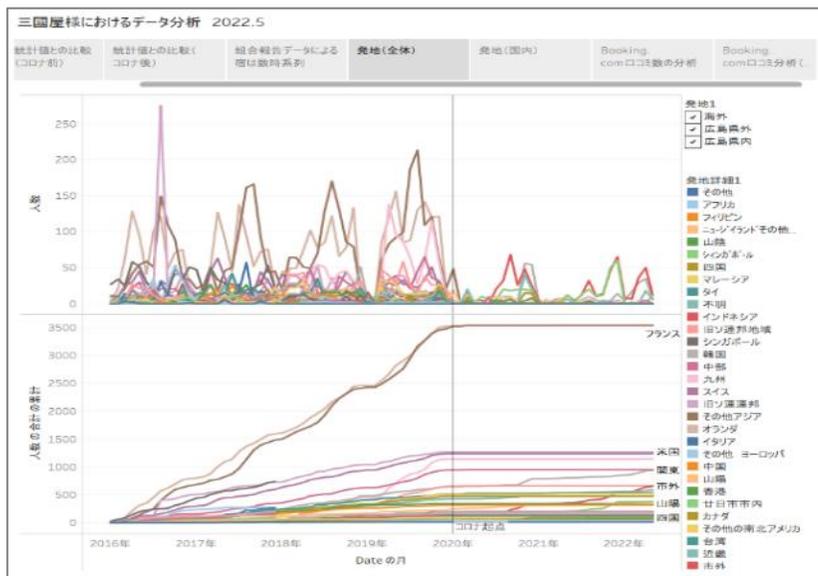
今後の課題

①量から質への転換（オーバーツーリズム対策）

②通過型観光地からの脱却（滞在時間延ばす、観光消費増）

なりたい姿の合意 データに基づいた対話および合意形成

■ 宿泊データ



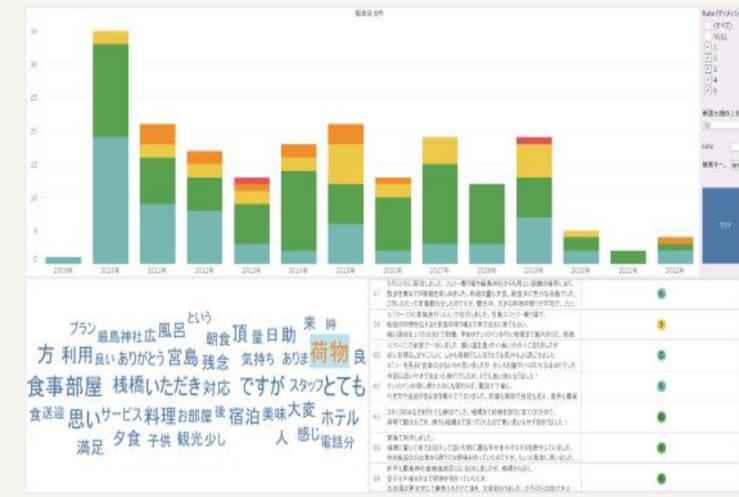
県内の他の宿泊事業者と比べて、
宿泊者に占めるインバウンド客の割合が高い
⇒コロナ禍による**需要減少の影響が大きい**ことが課題

データを エビデンスとした 対話



■ 口コミデータ

口コミ分析 (楽天トラベル)



「ゆったり、落ち着いた、心地よさ」
「リアルな日本（文化・人）体験」
「フレンドリー・親切」などが高く評価

地域コンセプト：「快適で心地よい空間と、新しい交流体験の提供」を設定

親和性の高い**“ワーケーション”**や**“関係人口”**に興味のある方を
宮島中江町に呼び込むことで、地域活性化につなげたい



施策Ⅰ 関係人口創出 広島・宮島でのこれまでの活動経緯

再掲

01
なりたい姿
の合意

2022年春

エビデンスに基づいた
協議により
なりたい姿の合意形成

02
施策Ⅰ

2022年夏

関係人口増加を目的とした
トークイベントの実施

03
施策Ⅱ

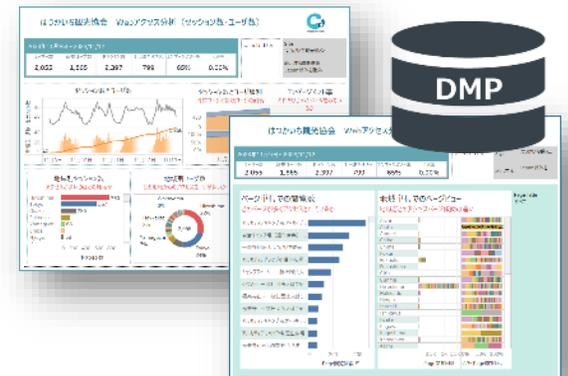
2022年冬

観光庁事業を活用し
レベニューマネジメントと
DX勉強会の実施

04
施策Ⅲ

現在

廿日市市版
観光DMPの構築



ちゅうえマルシェ / 「ワークショップ×地方移住の可能性」の座談会の開催



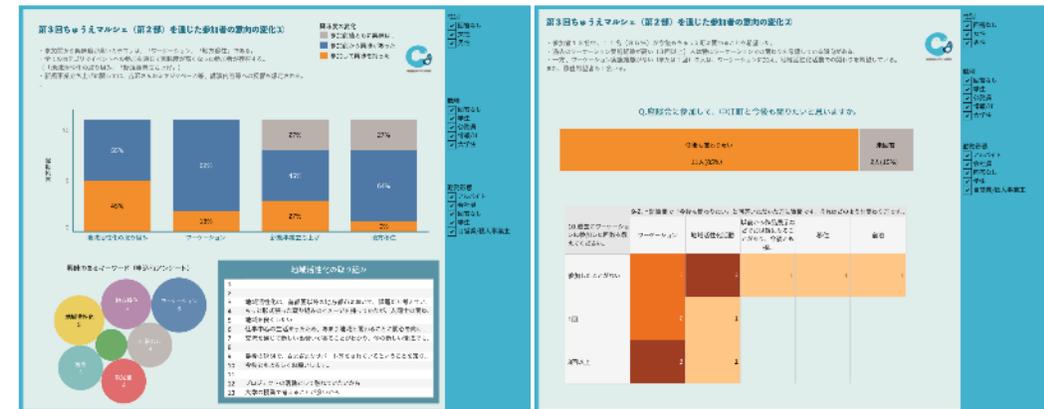
▼当日の様様



▼広がっていく関係人口



▼アンケートデータの分析・検証



関係人口創出に向けたトータルデータを活用する意義

地域事業者となりたい姿の合意後、ギャップを埋めるための施策をPDCAを回しながら実施してきました

ちゆちゆワークショップ×地方移住の可能性の座談会の開催

苦労した点 工夫した点

自身の経験や勘で語りがち

当初は事業者のそれぞれの想いや意見が強く「勘と経験」での発言が多く合意形成に至るまでに大きな時間を要する

投入できる稼働時間は少ない

本業がある中で地域のなりたい姿を検討するため投入できる稼働時間にはどうしても少なくなる

空中戦からデータを活用した地上戦

共通のデータを見ながら議論することで前提が揃いバラバラな意見がまとまり合意形成にかかる時間を短縮できる

▼広がっていく関係人



施策Ⅱ 宿泊事業者のレベニュー最大化・DX勉強会 広島・宮島でのこれまでの活動経緯

再掲

01
なりたい姿
の合意

2022年春

エビデンスに基づいた
協議により
なりたい姿の合意形成

02
施策Ⅰ

2022年夏

関係人口増加を目的とした
トークイベントの実施

03
施策Ⅱ

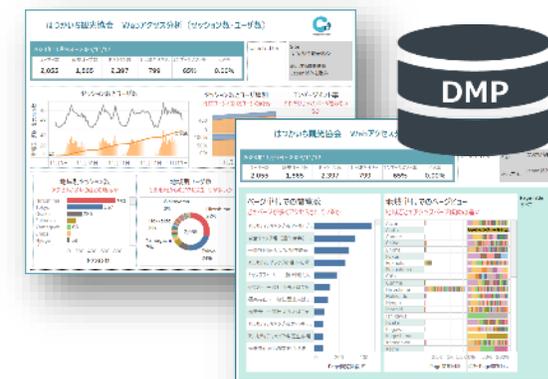
2022年冬

観光庁事業を活用し
レベニューマネジメントと
DX勉強会の実施

04
施策Ⅲ

現在

廿日市市版
観光DMPの構築



データに基づく持続可能な観光地経営に向けて

プロジェクトの推進力を高めるため、地域におけるデータ活用文化の醸成と地域でデータを活用した課題解決に挑戦

DX勉強会(データ活用文化の醸成)

目的

- 課題を解決するためのデータ活用人材の育成
- 事業者を巻き込みデータ活用文化の醸成

実績

- ✓参加者20名 参加事業者数13団体
- 大学、宿泊事業者、飲食事業者、観光協会、交通など
- ✓全4回開催しデータ活用やデジタルについて学ぶ
- ✓中国新聞にも掲載され反響あり

成果



デジタルで宮島観光振興
訪日客分析など勉強会スタート



- ①データリテラシー向上と参加者の高い満足度
- ②データを活用した具体的取り組みアイデア創出
- ③面的なデータ活用の取り組み合意形成

観光庁「宿泊施設を核とした観光地のDX推進に向けた実証事業(令和4年度)」
< https://www.mlit.go.jp/kankocho/page06_000318.html >

複数社の宿泊データを活用したレベニューマネジメント

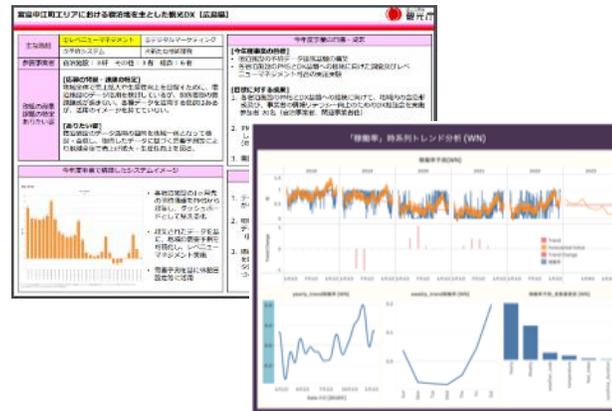
目的

- 地域で宿泊データを共有したデータの可視化と分析
- 宿泊データを活用したレベニューマネジメント検証

実績

- ✓中江町エリアでの宿泊データの分析と需要予測
- ✓宿泊事業者のレベニュー最大化に向けた打ち手の検証
ex. ダイナミックプライシング、休館日設定など

成果



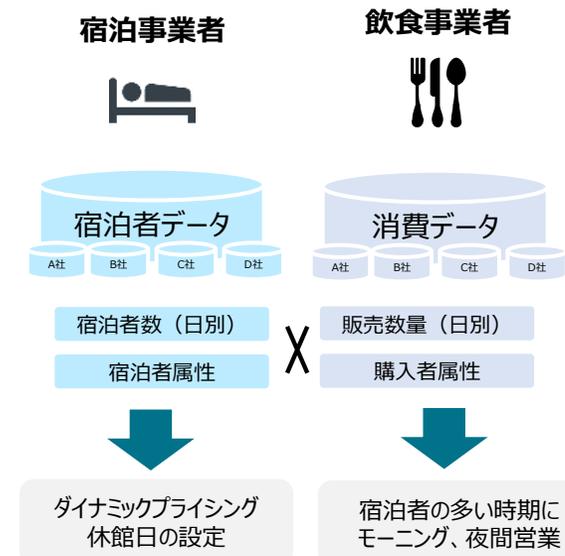
- ①他社と比較し売上拡大に向けた打ち手の共有
- ②1か月先までの需要予測を実施
- ③休館日設定の効果検証

観光庁「宿泊施設を核とした観光地のDX推進に向けた実証事業(令和4年度)」
< https://www.mlit.go.jp/kankocho/page06_000318.html >

地域一体となった面的な取り組み

各事業者がデータを提供し合うことで、経営改善の実現や新たな取り組みについてアイデアが生まれる

Win Winになるような仕組みの構築に向けて地域一体となった取り組みに向けての意識が醸成される



地域一体での面的DXの取り組み（DMP構築）

なりたい姿の実現や各種課題解決に向けてのPDCAを高速で回すために、地域の各種データを一元管理する基盤が必要。
現在廿日市市が主導して観光DMPの構築を進めており、効果検証や、施策実施時に活用できるDMPの構築を進めている

廿日市市観光DMP（データマネジメントプラットフォーム）

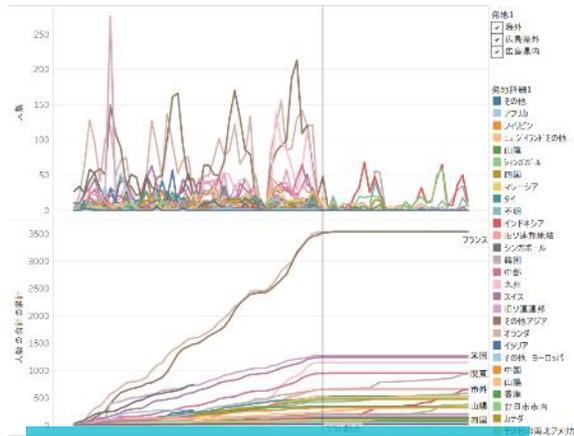


次年度以降追加検討中

【参考】 データを活用したナイトアクティビティ醸成

課題である消費額の少なさや日帰り観光客がメインの現状を解決するため、ナイトアクティビティ醸成にチャレンジ

Plan



フランス、米国のお客が多い



日本の歴史・伝統文化体験への期待が高い

Do

松明づくりワークショップの開催ポスター。2023年12月16日（土）18:00-20:00に開催され、参加費は2000円（お申し込み料1000円）です。

鎮火祭で使う松明づくり
ワークショップの開催

Check

アンケートによる効果検証

検証項目

- 参加者属性（どんな人が多く参加してくれたのか？）
- 宮島の伝統文化アクティビティに対する満足度 + アクティビティに対するコメント、要望

WEBプロモーション効果検証

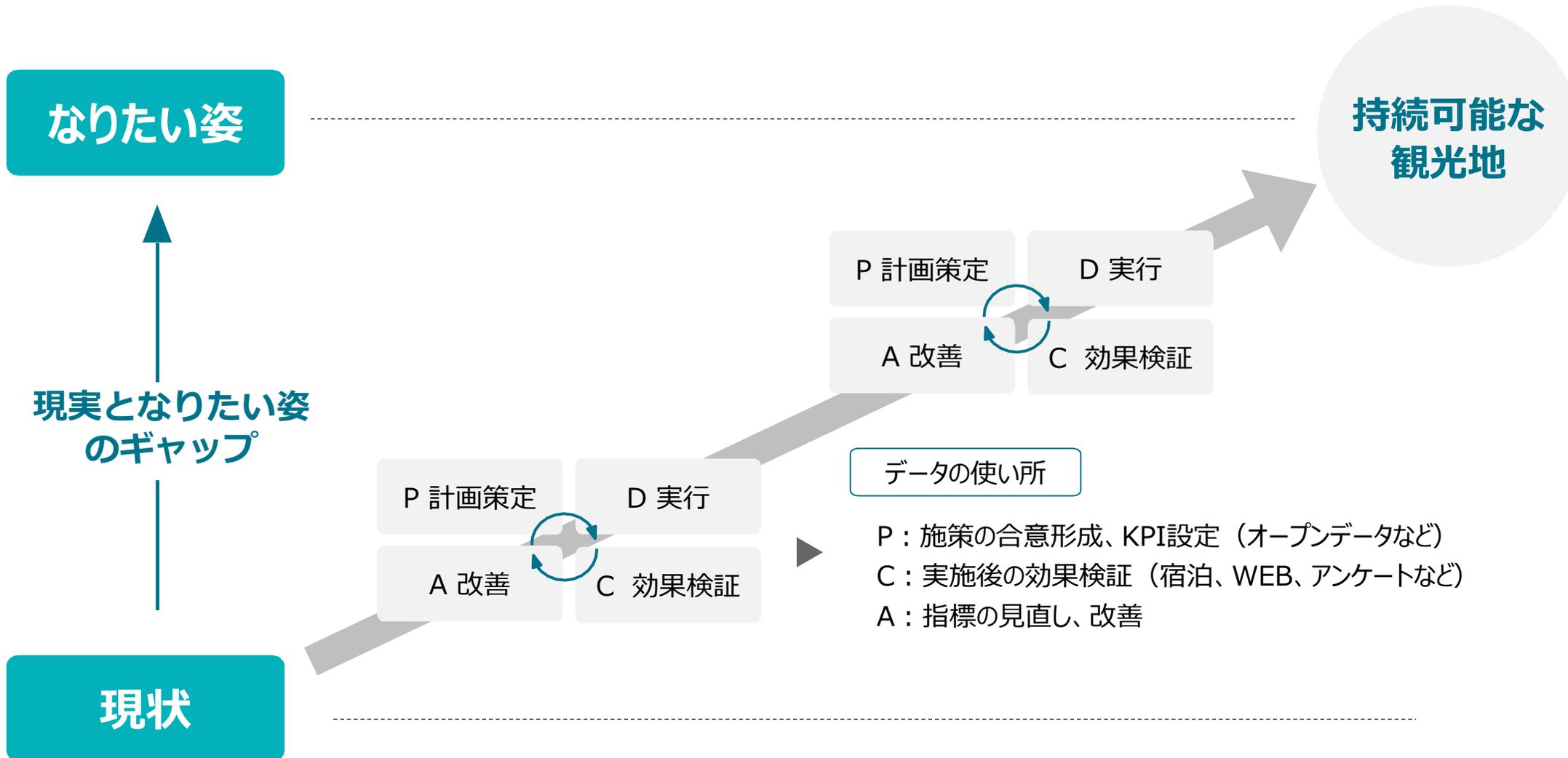
検証項目

- 観光協会プロモーション後のアクセス状況の変化
- 各種チャネルごとのコンバージョン率（申込数）の把握

データに基づく持続可能な観光地経営 全体像

再掲

現状把握となりたい姿を設定しギャップを埋めるための施策（PDCA）を繰り返してきた。



データに基づく持続可能な観光地経営 全体像

現状把握となりたい姿を設定しギャップを埋めるための施策（PDCA）を繰り返してきた。

再掲

持続可能な
観光地



現実となりたい姿
のギャップ

現状

レポートに弱く、現地消費が少ない



データの使い所

P 計画

A 改善

- P：施策の合意形成、KPI設定（オープンデータなど）
- C：実施後の効果検証（宿泊、WEB、アンケートなど）
- A：指標の見直し、改善



DMP

2023.12/16(土)

2000円
150円